期社 2009

10月22日
２００９年
（平成21年）
木　曜　日
第16988号（日刊）
土、日曜・祝日は休刊

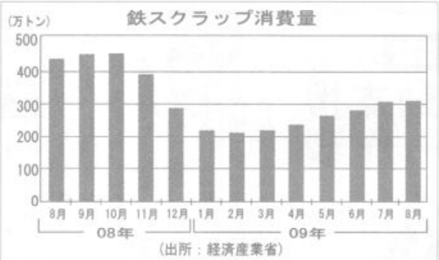
Metal & Technology
鉄鋼新聞

環境・リサイクル

鉄スクラップ国内消費

8月 6カ月連続前月比増

高炉、電炉とも増加



（出所：経済産業省）

8月の鉄スクラップ国内消費量は315万1千㌧で前月比1・4%（4万2千㌧）増えた。前月を上回ったのは6カ月連続。粗鋼生産の増加に伴い高炉、電炉メーカーともに鉄スクラップの消費量は回復傾向が続いている。ただ、前年同月比では29・1%（129万2千㌧）減と、1年前に比べいぜん大幅な落ち込みとなっている。

高炉メーカーの鉄スクラップ使用量を表す転炉消費量は100万8千㌧で前月比6%（5万7千㌧）増。電炉消費量は175万7千㌧で同2・7%（4万6千㌧）増となった。

転炉消費量は昨年11月以来9カ月ぶりに100万㌧を超えた。自動車需要への対応などによる粗鋼生産の増加に伴い、鉄スクラップの消費が伸びた。ただ、8月から再稼働した高炉があり銑鉄の消費量も増え、転炉の鉄スクラップ配合率は13・8%と前月比0・5ポイント低下した。一方、電炉でも粗鋼生産が増え、鉄スクラップの消費量が伸びた。ただ、転炉鋼に比べると伸び率はわずかにとどまった。170万㌧台の消費量は4カ月連続。

前年同月比では転炉消費量が23・4%（30万8千㌧）減、電炉が30・3%（76万5千㌧）減となっている。建築需要の低迷で電炉メーカーは大幅減産を継続しており、転炉に比べ電炉での鉄スクラップ消費が大きく落ち込んでいる。

電炉向け小型掃除機

アイザック・ティが発売

産業用機械の設計、製造を手掛けるアイザック・ティ（本社・神奈川県横浜市、社長・小原隆徳氏）は、電炉メーカー向けの工業用掃除機「VABLON（バブロン）シリーズ」で吸引力に優れた小型機を開発、このほど販売を開始した。従来機では吸引が難しかった比重の大きいスケールやダストを強力に吸引。コンパクト設計のためクレーンやトラックで本体を移動させて使用することができる。

工業用掃除機「バブロン」シリーズは主に電炉メーカーの工場内に堆積した粉塵やダストを掃除する目的で開発された。

今回新たに追加したのは同シリーズのコロフラット型で型式は「cf76―85」。吸引対象物のサイズは最大25㍉。吸入風量は毎分7・6立方㍍で、ホッパー容量は0・7立法㍍。最大集塵量は毎分40㌔㌘。比重2以下のものまで吸引できるため、比重の大きいミルスケールやダストなどでも強力に吸い取ることができる。小型のため本体を移動できるほか、本体は固定したまま配管を延長することも可能。吸引した粉塵を電気炉内に吹き込むことや、油分や水分を含んだ金属系スケールの吸引などにも対応する。

本体重量は1・9㌧と既存機である「スーパーバブロン」の約半分とした。

価格は標準機で700万円だが基本的にはユーザーの用途に合わせてオーダーメイドで販売する。

バブロンcf76―85

ハザマなど3社

仮設防音緑化パネル開発

国内シェア2割目指す

大手ゼネコン、ハザマ（本社・東京都港区、社長・小野俊雄氏）はこのほど、防音壁などの設計・施工を行う旭機工とガーデニング資材メーカー、クレアテラネットワークと共同で仮設防音緑化パネル「ASPみどり」を開発、商品化した。通常の仮設パネルに比較して表面温度が10℃以上低く、ヒートアイランド現象の緩和に一定の効果が期待できる。3年以内に汎用的な仮設防音パネル（Aタイプ）の国内シェア2割の獲得を目指し、積極的に拡販していく。

仮設防音パネルは吸音材（グラスウール）とパンチングメタルなどの遮音版で構成される資材。掘削工事現場周辺の住民に対する騒音の影響などを抑制するために用いられる。しかし、真夏の晴天時には表面温度が上昇しヒートアイランド現象の一要因となっていたほか、周辺環境との調和という点でも難点があった。

このほど開発したパネルはグラスウールの代わりに同等の防音性能を有しながらも保水性の高い植栽基盤「ヤシ殻マット」を設置。試験設置では表面温度の低下が確認できたほか、通常の仮設防音パネルと同等の防音性能（透過損失）があることが実証されている。

植栽の標準はコウライシバだが、オプションで季節のさまざまな草花を植栽することもできる。

販売とリースは旭機工が担当。年間のリース価格は1平方㍍当たり約10万円（施工費含む）。

「地球温暖化防止展」

3日間で1万1000人来場

地球温暖化防止に関する技術や製品・サービスを一堂に集めた「2009地球温暖化防止展&世界環境共生都市博」＝写真＝が今月14～16日の3日間、パシフィコ横浜（神奈川県横浜市）で開催され、累計で1万8944人が来場した。

同展示会は今回が初開催。108もの企業・団体が出展した（小

低炭　国内　信し　地　界的

る中、環境機器メーカーだけでなく、実際のエンドユーザーに機器の設置や施工、サービスを提供する企業が多く出展したことで「今

リサイクル機器メーカーを買収

メッツォ

メッツォ・コーポレーション（本社・フィンランド、ヘルシンキ）はデンマークのリサイクル機器メーカー「M&Jインダストリーズ A/S社」を買収した。

M&J社は産業廃棄物や家庭ごみを処理する設備機器を手掛けており、可動式や固定式シュレッダーの設計と

NICO

ビジネスマッチング会立上げ

太陽光発電で産学官連携

にいがた産業創造機構（NICO）は新潟県のグリーンニューディール政策に基づき、新エネルギー企業群の創出・形

09年度「3R推進功労者」表彰

【文部科学大臣賞】▽長野県駒ヶ根市立赤穂東小学

クル活動」▽東京都立つばさ総合高等学校「学校全体で取り組む環境保全活動」

▽亀田製菓「米菓工場の廃棄物リサイクル率向上と、CO_2排出量削減を目指した環境保

を利用した熱と電気へのリサイクル利用」▽鹿島建設関西支店四条高倉工事事務所「周辺

る建設汚泥・発生土量の削減」▽竹中工務店東京本店丸の内パークビルディング・三菱一

ため、　り込ん　ネスマ　ちよげ